

鶉三小だより

一月号

令和6年師走26日 各務原市立鶉沼第三小学校

【1月の予定】

日	曜	行事等
1	水	元日 冬休み
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	冬休み明け集会
9	木	書き初め会
10	金	書き初め会
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	放課後子ども教室
15	水	
16	木	委員会・ららら学習室
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	4年社会見学
21	火	
22	水	なかよし大会
23	木	学力テスト クラブ
24	金	6年校外研修
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

人とのかかわり方について

12月は、学年で動くことが多い月でした。先週で言えば、5年生が自然の家での宿泊研修、「たいよう」は、ふれあい教育展へ、2年生は金曜日に電車で市の中央図書館に行きました。普段学校では体験できないことを通して、クラスや学年の皆とふれあったのではないのでしょうか。私は5年生の宿泊研修と一緒に行ったのですが、その中である子が「仲間とどうかかわれば良いのかわからない」というようなことを私に言いました。そこで、2024年最後の学校便りは、人とのかかわり方へのアドバイスを2つしたいと思います。2つとも、以前お話しした「論語」という中国の古い書物にも書かれていることです。

一つ目。論語には、「自分を理解してもらえないと嘆くより、他人を理解していないことを気かけなさい」と先生は、おっしゃった。と、書かれています。皆さんのお父さんお母さんが子どもの頃には、「自己中心はいけないこと」と皆教えられていました。「自己中心」とは、自分のことだけを考え、まわりの人の気持ちを考えないことを言います。今は、「まずは一人一人が自分を大切にすること」が大切にされます。勿論それは本当に大切な考え方ではあるのですが、やはり同時に人の思いも大切にしないといけないと思います。それが「美しい心」です。論語の時代から「まずは自分を見つめなさい」と先生は言っています。人を責めたり人のことをとやかく言ったりするのはなく、まずは自分を見つめることが大切です。

二つ目は、「どんなに仲のよい人でも敬意をもって付き合わない」と、いつかその関係は終わってしまう。もし、あなたが、これからもその人と長く付き合っていきたいのならば、敬意をもちましょ

う」と言うことです。「敬意」とは、簡単に言えば相手を「すごいな、素晴らしいな」と思うことです。相手を大切にすることです。高学年の人ならば、「リスペクト」という言葉を聞いたことがありますか？自分のことを馬鹿にする人と皆さんも友達にはなれないでしょう？私は、昨年と比べ、今年うれしいことがいくつかあります。その一つが、鶉三小から「あおった」「あおられた」と言う言葉がぐっと減ったことです。でも残念ながら、いまだに「あおられた」と悲しい思いをする人がいるのも事実。皆さん、忘れないでください。人をあおる人には、本当の友達はできません。人をあおる人は、「美しい心」からほど遠い心の持ち主です。まわりの人を大切にすることは、まわりからも大切にされます。2024年も後少しで終わります。新たな年、2025年をよりよくするためにも、人とのかかわり方について、一度考えてみて欲しいなと思います。ごめんなさい。また高学年の人たち向けの学校便りになってしまいましたね。低学年の皆さんは、難しく考えず、まわりの人たちに優しくすることが大切だと思ってください。1月8日に、笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。

保護者の方へ ～今年一年、ありがとうございました～

学校評価の方、ありがとうございました。いただいたご意見はしっかりと受け止め、鶉三小の子供達の為に改善できることは推し進めていきたいと考えております。評価の内容については、今後の学校便りにてご紹介いたします。さて、「一年の計は元旦にあり」と言われますが、具体的な目標をもって、生活することは、子供達の健やかな成長にとっても有効です。ご家庭でも、「今年は〇〇に挑戦しよう」「今年の目標は何にするの？」等、お子様とお話しただけると良いのではと考えます。今年一年の保護者の方のご理解、ご協力、誠にありがとうございました。新年もどうぞよろしく願いいたします。